



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 ヤマノホールディングス

上場取引所 東

コード番号 7571 URL <http://www.yamano-hd.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高経営責任者 (CEO) (氏名) 山野 義友

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 岡田 充弘

TEL 03-3376-7878

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	3,266	1.5	71		73		98	
2019年3月期第1四半期	3,315	15.2	72		73		85	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 119百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 160百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	2.90	
2019年3月期第1四半期	2.52	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,181	1,275	17.8
2019年3月期	7,154	1,511	21.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 1,275百万円 2019年3月期 1,511百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		2.00	2.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	0.8	250	2.0	240	9.7	150	6.3	4.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	34,497,058 株	2019年3月期	34,497,058 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	956,869 株	2019年3月期	456,869 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	33,832,976 株	2019年3月期1Q	34,040,189 株

当社は「株式給付信託(BBT)」を導入しており、株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託(BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。また1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・当社は、決算補足説明資料を、この決算短信公表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、企業収益の改善や雇用環境の改善を背景に景気は緩やかな回復基調が続きましたが、米中経済摩擦の影響等もあり、先行き不透明な状況で推移しました。

個人消費も持ち直しの動きがみられるものの、先行き不透明感による消費者の節約志向は依然として根強く、厳しい環境が続いております。

このような状況の下、当社グループでは「ソフトと価値の提供」によって既存顧客との信頼関係強化に努める一方で、新規顧客獲得をグループ共通の課題として取り組んで参りました。

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は32億66百万円（前年同期比1.5%減）、営業損失は71百万円（前年同期は営業損失72百万円）、経常損失は73百万円（前年同期は経常損失73百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失については税金費用の増加により、98百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失85百万円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

・美容事業

美容事業においては、前年第2四半期より連結対象とした株式会社みうらの増収影響があったものの、既存美容事業での店舗数減少（前年同期比2店舗減）及び天候不順等による客数減（前年同期比5.0%減）があり、売上高は4億77百万円（前年同期比0.7%減）となりました。利益面では、既存美容事業での店舗数減に伴う固定費減少や販促経費削減に努めたこともあり、セグメント損失1百万円（前年同期はセグメント損失6百万円）となりました。

・和装宝飾事業

和装宝飾事業においては、2店舗の新規出店及び3店舗の移転改装を行いました。宝飾小売部門売上高は前年同期比9.0%の減収となりましたが、和装小売部門売上高は、受注商品の引渡しに順調に進んだこともあり、前年同期比1.3%増と堅調を維持しております。その結果、和装宝飾事業での売上高は24億42百万円（前年同期比0.6%増）となり、セグメント損失28百万円（前年同期はセグメント損失38百万円）となりました。

・DSM事業

DSM事業においては、新規顧客の獲得や販売員補強が進まず依然厳しい状況が続いており、事業所数が前年同期比で6拠点減少した結果、売上高は3億43百万円（前年同期比15.6%減）となり、セグメント損失21百万円（前年同期はセグメント損失12百万円）となりました。なお当四半期においては、収益改善を図るために事業の管理運営体制の大幅な見直しを行っております。

・その他の事業

その他の事業の収益は、株式会社ヤマノセイビングの前払い式特定取引業による手数料収益及び一般社団法人日本技術技能教育協会の着物着付教室の運営収益であり、売上高は2百万円（前年同期比1,398.9%増）、セグメント損失は1百万円（前年同期はセグメント損失1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて26百万円増加し71億81百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1億74百万円減少、受取手形及び売掛金が46百万円増加、商品及び製品が1億37百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて2億62百万円増加し59億5百万円となりました。これは主に、短期借入金が1億10百万円増加、支払手形及び買掛金が65百万円増加、長期借入金が59百万円増加、前受金が66百万円減少、社債が13百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億35百万円減少し12億75百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失計上による利益剰余金98百万円の減少、剰余金の配当68百万円、自己株式の取得47百万円、その他有価証券評価差額金21百万円の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月15日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,416,632	2,242,480
受取手形及び売掛金	1,519,573	1,566,137
商品及び製品	1,309,830	1,447,538
原材料及び貯蔵品	-	8,047
その他	231,325	244,960
貸倒引当金	△17,694	△17,665
流動資産合計	5,459,666	5,491,497
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	958,598	927,080
減価償却累計額	△668,803	△624,388
建物及び構築物(純額)	289,794	302,692
工具、器具及び備品	209,934	218,761
減価償却累計額	△184,613	△185,633
工具、器具及び備品(純額)	25,320	33,127
土地	37,411	37,411
リース資産	47,186	60,045
減価償却累計額	△29,150	△30,831
リース資産(純額)	18,035	29,214
有形固定資産合計	370,563	402,445
無形固定資産		
のれん	117,486	103,869
その他	10,436	9,210
無形固定資産合計	127,923	113,079
投資その他の資産		
投資有価証券	244,296	211,314
長期貸付金	6,371	6,061
繰延税金資産	15,859	26,179
敷金及び保証金	901,643	896,146
その他	42,631	48,871
貸倒引当金	△14,467	△14,431
投資その他の資産合計	1,196,335	1,174,142
固定資産合計	1,694,821	1,689,668
資産合計	7,154,488	7,181,166

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,608,872	1,674,622
電子記録債務	289,002	286,540
短期借入金	280,000	390,000
1年内償還予定の社債	22,400	24,400
1年内返済予定の長期借入金	453,204	447,308
未払金	482,019	517,305
前受金	1,566,377	1,500,070
未払法人税等	26,248	16,989
賞与引当金	89,920	117,520
ポイント引当金	33,373	31,521
株主優待引当金	5,459	5,459
資産除去債務	11,596	5,385
その他	235,189	281,762
流動負債合計	5,103,662	5,298,884
固定負債		
社債	27,000	13,800
長期借入金	105,460	164,488
長期末払金	85,439	82,753
役員株式給付引当金	18,620	18,620
繰延税金負債	6,083	6,909
資産除去債務	260,476	267,803
その他	36,417	52,349
固定負債合計	539,498	606,724
負債合計	5,643,161	5,905,609
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	979	979
利益剰余金	1,435,749	1,269,134
自己株式	△53,988	△101,553
株主資本合計	1,482,741	1,268,560
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,585	6,996
その他の包括利益累計額合計	28,585	6,996
非支配株主持分	-	-
純資産合計	1,511,326	1,275,556
負債純資産合計	7,154,488	7,181,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	3,315,182	3,266,368
売上原価	1,646,922	1,577,371
売上総利益	1,668,260	1,688,996
販売費及び一般管理費	1,740,757	1,760,566
営業損失(△)	△72,496	△71,570
営業外収益		
受取利息及び配当金	770	261
受取地代家賃	543	438
受取補償金	3,134	-
その他	1,198	1,513
営業外収益合計	5,646	2,213
営業外費用		
支払利息	1,965	1,986
障害者雇用納付金	1,200	1,700
その他	3,161	547
営業外費用合計	6,326	4,233
経常損失(△)	△73,176	△73,591
特別損失		
固定資産除却損	0	17
固定資産撤去費用	-	4,665
店舗閉鎖損失	37	961
支払補償金	4,824	-
その他	650	-
特別損失合計	5,511	5,644
税金等調整前四半期純損失(△)	△78,688	△79,235
法人税、住民税及び事業税	6,694	17,072
法人税等調整額	408	1,899
法人税等合計	7,102	18,972
四半期純損失(△)	△85,790	△98,207
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△85,790	△98,207

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△85,790	△98,207
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△74,535	△21,588
その他の包括利益合計	△74,535	△21,588
四半期包括利益	△160,326	△119,796
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△160,326	△119,796
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

株主資本の金額の著しい変動

2019年5月15日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式の取得を決議し、自己株式の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が47,565千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が101,553千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	美容	和装宝飾	D S M	計
売上高				
外部顧客への売上高	481,282	2,426,946	406,782	3,315,012
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	481,282	2,426,946	406,782	3,315,012
セグメント損失(△)	△6,675	△38,663	△12,632	△57,970

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への売上高	170	3,315,182	—	3,315,182
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,781	2,781	△2,781	—
計	2,952	3,317,964	△2,781	3,315,182
セグメント損失(△)	△1,802	△59,773	△12,723	△72,496

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業等を含んでおります。

2 セグメント損失(△)の調整額△12,723千円には、のれん償却額△11,400千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,323千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	美容	和装宝飾	D S M	計
売上高				
外部顧客への売上高	477,836	2,442,481	343,491	3,263,809
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9	—	216	225
計	477,845	2,442,481	343,707	3,264,034
セグメント損失(△)	△1,817	△28,830	△21,250	△51,898

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への売上高	2,558	3,266,368	—	3,266,368
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,537	2,762	△2,762	—
計	5,096	3,269,131	△2,762	3,266,368
セグメント損失(△)	△1,966	△53,865	△17,704	△71,570

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業等を含んでおります。

2 セグメント損失(△)の調整額△17,704千円には、のれん償却額△13,616千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,088千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。